

ご意見・ご要望をお寄せください

日本共産党 区議会報告

発行:日本共産党品川区議団

2010年新春号 発行責任者:宮崎 克俊
TEL.5742-6818(直通) FAX.3778-3088

ホームページ [共産党 品川](#) [検索](#)

国民の「SOS」受けとめ くらし応援の政治へがんばります

日本共産党の「雇用・くらし街頭相談」(09年12月8日 大井町)



昨年の総選挙では、自公政治にノーの審判が下されました。今年2010年は、いよいよ大企業の利益を最優先する政治から、国民のくらし応援の政治へきりかえる時です。不況に世界的金融危機、デフレ。

区内のネットカフェ難民などを 実態調査

年末を控えた09年11月11日夜、小雨が降る中、共産党は区内のネットカフェを聞き取り調査。大井町A店では「35席中、20人位が常時『宿泊者』。何年も泊まっている人もいる。50~60代の方が多い」との話が聞かれ、五反田と大井町の計4店舗で、常時「宿泊者」は40~50人にのぼることが分かりました。

同月17日の深夜には、24時間営業ハンバーガーショップを調査。五反田B店には、目を閉じてイスにもたれている方が9人。うち5人は、大きな荷物を脇に置いています。武蔵小山のC店でも同様のお客は4人いました。

同日、始発前のJR大崎駅。ダンボールを敷いて寝ている人や、シャッターが開くのを待つ人が、合わせて6人。話を聞くと「電車の中は暖かいのでそこで寝る。高望みしたらきりがないが、ゆっくり眠りたい」との答えが返ってきました。

◆◆◆

区が行う月一度の路上生活者調査は日中に行い、主に公園や駅をまわるだけ。夜間やお店の中までは調査しません。共産党は行政の調査ではつかめない深刻な実態を調査し、議会で取り上げ、支援策の実行を求めました。

本共産党品川区議団が同品川地区委員会と五反田駅頭で行った「雇用・くらし街頭相談」に46歳の男性が相談に。また、共産党の区議会議員は、日々の生活相談活動、月に一度の無料法律相談会も行っています。3ヶ月前にアパートを出され所持金も

尽きたという30代の日雇い「派遣社員として3年働いてきた。いよいよ正社員になれるかと思ったら、来年からはアルバイトでと一方的に通告された。収入が激減することになり、困っています」――12月4日、日

派遣労働者。廃業からうつ病を発症し高い医療費に苦しむ自営業者。深刻な相談に、区とかけあい、生活保護を受けることができました。

危機的状況の中、共産党は、くらしの「SOS」を受けとめ、国民生活の苦難軽減のため草の根でがんばります。「建設的野党」として、みなさんと力合わせて、国政でも地方でも、政治を変えるため奮闘します。

生活、医療、介護、労働問題など…
お気軽にご相談ください

日本共産党品川区議団 ☎ 5742-6818



安藤たい作
事務所 西品川3-16-3
電話 3491-3230



いいねま雅子
事務所 小山2-16-1
電話 3787-5425



菊地貞二
事務所 南品川6-19-8
電話 5462-2133



なかつか亮
事務所 大井3-19-7-101
電話 3773-3231



南 恵子
事務所 南大井3-8-2F
電話 3298-2530



みやざき克俊
事務所 豊町6-2-1
電話 3786-6674